

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) ユキモトゼミナール
神奈川大学	経営学部	行本ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) フェアトレード	フリガナ) タカヤナギチヒロ	3	無	
フェアトレード	高柳ちひろ			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

児童労働撤廃へ～フェアトレード×学校の可能性～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究では世界の児童労働の撤廃を最終的な目的とする。児童労働とは義務教育を妨げる労働や法律で禁止されている18歳未満の危険で有害な労働のことを指す。今日まで世界では児童労働が問題視されている。2015年9月の国連サミットで『SDGs』が採択され、『誰一人取り残さない』を合言葉に、貧困に関する問題も注目されている。日本では身近に児童労働は行われていないため、児童労働に対する理解・関心が低いのが現状ではないか。

発展途上国の子どもたちは貧しいゆえに児童労働を強いられ、労働しているがために教育を受けることができていないという悪循環に陥っている。児童労働をなくし、世界の子どもたちが平等に生活できる世界を作りたいと考え本研究を進めた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在、世界には約1億5200万人の児童労働者が存在する。世界の児童労働者の8割以上はアジア太平洋地域やアフリカ地域といった低所得国に集中しており、特に農林水産業での児童労働が目立つ。

日本では途上国で生産された日用品や食料品が安い価格で販売されることがある。一方、生産国ではその安価な商品を生み出すために正当な対価が生産者に支払われなかったり、生産性を上げるために必要以上の薬品が使用され環境、生産者の健康に害を及ぼしたりといった事態が起こっている。その原因として考えられる要因が教育機会の不足である。教育を受けていないために彼ら自身が生産物の対価を理解できていないといえる。

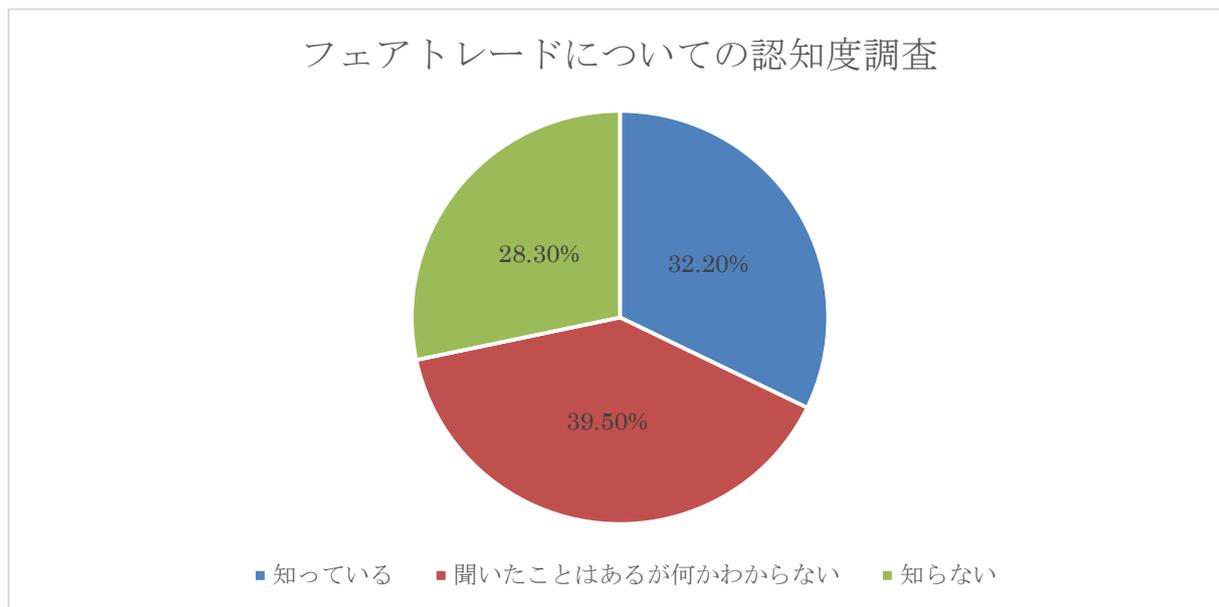
世界の児童労働者を救うためには児童が労働しなくても生活していけるお金があれば成り立つ。これまでの身近にできる児童労働に対する支援といえば募金といった金銭的支援やボランティア活動が主流であった。従来の一方向的な国際協力・資金援助は、支援する側の都合に左右され、継続性に欠けるといった問題点があった。そこで、私たちはフェアトレードという1つの貿易のしくみに着目した。フェアトレードとは公正な取引を意味し、発展途上国で作られた原材料や製品を適正な価格で継続的に取引し、取引する企業は生産者に対し技術的支援も行うため発展途上国の生産者は賃金だけでなく自立へ向けた知識と教養を身につけることができる。さらにフェアトレードが広まれば児童労働から解放された子供たちが教育を受けることができ、そこで身につけた知識や教養を生かし、先進国からの支援に依存することなく生活していくことが可能になる。

3. 研究テーマの課題

本研究の課題は児童労働問題に対する日本人の関心の低さにある。それゆえに児童労働問題の解決策であるフェアトレードも日本に定着しているとはいえないのが現状である。私たちが独自に152名の10代～60代男女を対象におこなったフェアトレードについての認知度調査からフェアトレードという言葉が「知っている（＝フェアトレードの知名度）」は6割を超えるが、一方でフェアトレードの仕組みを「理解している（＝フェアトレードの認知度）」は3割弱でありフェアトレードという言葉の独り歩きという現状がわかる。

しかし年々フェアトレードの認知度が上がっていることは事実である。フェアトレードフォーラムが2015年に16歳～69歳の1076名を対象にフェアトレードの認知度と購入経験の有無の調査から、1076人中132人が認知している上に購入経験があると答えている。

これらの結果からフェアトレードはまだ日本に浸透しておらず、日本国民がフェアトレードに関心も低く、国内でフェアトレード商品が消費されていないことが課題であるといえる。



アンケート実施日； 2018年4月26日～5月3日

調査対象； 10代～60代の男女 152人

フェアトレードの購入経験の有無



フェアトレード・フォーラムが 2015 年に行った全国意識調査

調査対象 ; 16 歳～69 歳男女 1076 名

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

フェアトレード製品は、公平な取引を行なっている上に、ひとつひとつの品質が高いため従来の商品と比べると価格が高くなってしまふ。これらの商品を一般の消費者が日常的に購入するのは難しいと考えた。そこで私たちは逗子市と協力しプロジェクトを進めていく。逗子市は全国に 4 つあるフェアトレードタウンの一つである。一般消費者からの継続的な購入が難しいため行政を通しての購入が有益だと考えた。逗子はフェアトレードタウンであることからフェアトレードに対して高い関心を抱いている。それにより行政との協力も実現が可能となった。具体的な内容としては、小中学校の給食にフェアトレード製品を導入することを予定している。逗子市との協力により継続的かつ大量なフェアトレード商品の購入を実現させる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

活動内容はまずフェアトレードについての認知度を把握するために 152 名の 10 代～60 代の男女にアンケートを実施した。この結果が今回のプロジェクトを進める第一歩となった。逗子市役所や関連団体等を 4 回訪問し、プロジェクトについての話し合いを進めた。逗子市内のフェアトレード商品を取り扱う店舗にも実際に足を運び、フェアトレード商品の品質の良さを実感し、店舗の方に聞き取り調査を行った。実際に給食を導入する上でこちらの店舗を通して仕入れをする。店側の承諾も得ており、協力的な関係を構築している。

また、フェアトレード給食を提供するだけでなく、フェアトレード講座やフェアトレード給食の献立表など作成する。フェアトレード講座は我々学生が校内放送で流すテープを作成し、各学校に配り流してもらう。給食の献立表にはフェアトレード製品の原産地、児童労働について、フェアトレードの説明などを記載し、生徒の親御様に配布する。以上のことにより児童労働、フェアトレードに関する理解を深める。

プロジェクト内容としては逗子市内の小中学校の給食にフェアトレード製品を導入し、継続的かつ大量なフェアトレード製品の消費を促す。また、資金調達方法として、逗子市役所のふるさと納税制度を用い、フェアトレード製品を返礼品として入れてもらい、フェアトレード製品の消費を増やす。

フェアトレード商品を 33,000 円分購入するごとに一人の児童労働者を救うことができる。私たちは逗子市内の小中学校にフェアトレードバナナを提供することを考えており、一人当たり約 33 円の予算となる。逗子市は 3783 名分の給食を提供しているため、12 万 4839 円分のフェアトレードバナナの購入に繋がる。よって一回のフェアトレード給食を提供することにより 3.7 人の児童労働者を救うことができる。

6. 結果や今後の取り組み

来年、毎年 5 月のフェアトレード月間にフェアトレード給食を実施する。それに踏まえフェアトレード給食を実現させるために 10 月に逗子市の管理栄養士を交え、より企画の具体化を図る。2019 年 2 月に逗子市教育委員会の予算決定があり、2018 年の 11 月、12 月中に資金調達を実行し、予算決定までに正確なコストを算出する。

さらに逗子市を中心にフェアトレード給食を全国の小中学校への普及を目指し、より強力な継続性と大量なフェアトレード商品の購入に繋げる。また、フェアトレード給食と同時により多くの子供たち、その親御様に児童労働の現状理解を深める活動をし、日本人の関心を高め、最終的に児童労働撤廃を目指す。

7. 参考文献

<http://acejapan.org/childlabour> 世界の子どもを児童労働から守る

(最終閲覧日 2018/09/15)

NGO ACE<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/index.html>

(最終閲覧日 2018/08/07)

外務省 https://www.fairtrade-jp.org/about_fairtrade/course.php

(最終閲覧日 2018/09/15)

フェアトレードジャパン <https://research.nttcoms.com/database/data/001541/> NTT

コムリサーチ フェアトレード商品に関する調査結果(最終閲覧日 2018/09/15)

https://www.peopletree.co.jp/press/press-pdf/2015/20150716_fairtrade.pdf フェアトレードの認知率(最終閲覧日 2018/09/11)

<https://www.city.zushi.kanagawa.jp/global-image/units/40066/1-20170117113135.pdf>

逗子の教育 <https://www.furusato-tax.jp/about> (最終閲覧日 2018/09/15)

ふるさと納税 <http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/zaisei/hurusato.html> 逗子市(最終閲覧日 2018/08/06)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**